

福井市・岐阜市・奈良市 三市社協合同研修を実施

迅速な支援体制の構築をめざして

福井市・岐阜市・奈良市の社協で締結している「災害時等に関する相互支援に関する協定」第9条に基づき、令和7年6月21日(土)・22日(日)に福井市で三市社協合同研修会を開催しました。今回の合同研修は、福井市で行われる総合防災訓練に他市の社協が初めて参加する機会となり、これまでにない新たな試みとなりました。

1 日目 福井市民福社会館ボランティアルーム

研修1日目では、翌日に予定されている防災訓練への参加準備として、福井地震やロシアタンカー重油災害事故、福井豪雨などの過去の災害対応について学びました。併せて、福井市災害ボランティアセンター連絡会の役割や取り組みに触れ、当日訓練の実践に向けた理解を深めました。



2 日目 福井市立啓蒙小学校・福井市もみじ児童館

研修2日目には、福井市立啓蒙小学校グラウンドで行われた福井市総合防災訓練 福井市災害ボランティアセンター開設・運営訓練に参加しました。訓練参加者は3班に分かれ、スタッフ役、被災者役、ボランティア役をローテーション形式で体験しました。



ニーズ訓練
ボランティア依頼ニーズの受付対応



受付訓練
ボランティア活動者の受付対応



マッチング訓練
依頼ニーズとボランティア活動者のマッチング対応

訓練後には福井市もみじ児童館にて振り返りを行い、各社協ごとに訓練での成果と課題を共有しました。訓練を通じて得た知識や経験を基に、より円滑な協力関係を構築し、今後も災害時における迅速な支援体制の実現に向けて取り組んでいきます。